

田辺地区（HOPEゾーン調査地区）

【地区の概要等】

1) 位置・規模等

- ・ 当地区は、東住吉区の西部に位置し、北は松虫通、南は既存道路、東は近鉄南大阪線、西はJR阪和線に囲まれた面積約50haの区域である。
- ・ 17年度国勢調査における地区内の人口は、総数9,525人であり、世帯数は4,391となっている。5年前と比べ、世帯数はわずかな増加傾向にあるが、人口は減少している。

2) 地域資源等

- ・ 地区内の旧農村集落部分には、農家の屋敷や社寺、町家や長屋などが集積し、昔ながらのまちなみが残っており、長屋門や蔵などがまちなみのアクセントとなっている。特に旧北田辺集落を東西に通る庚申街道沿いには大きな屋敷が門を連ね、旧南田辺集落を南北に通る下高野街道沿いには、長屋や町家の集積がみられる。
- ・ 地区内に集積する社寺の中でも大規模な山阪神社と法楽寺は原則的に出入り自由なオープンスペースとして地域の核となっており、また、法楽寺境内には、府指定名勝であるクスノキといった資源もある。
また、小規模な寺の鐘楼や瓦屋根などがまちなみのアクセントとなっている。

3) 地域のまちづくりの動き

- ・ 地区東北部の都市計画道路内にあるクスノキの保存運動をきっかけに、まちづくり活動が活性化してきている。
- ・ 現在、北田辺の歴史とまちづくりを考える会、田辺寄席、田辺大根をふやしたろう会など、共通コアメンバーが中心となって、地元ネットワークを活かした連鎖的な活動を展開している。

【現在の取り組み状況】

- ・ 19年度～ 「田辺地区HOPEゾーン事業整備方針策定調査」の実施
住宅やまちなみ資源等の現況調査、地域住民等の意向把握などを行いながら、田辺地区でのHOPEゾーン事業の事業化に向けた整備方針策定のための検討を進めている。

【今後の予定】

- ・ 19年度末 整備方針の策定（国土交通大臣による「整備方針」の承認）
- ・ 20年度以降 事業計画策定調査の実施（国土交通大臣による「事業計画の同意」）、
地元協議会（田辺地区HOPEゾーン協議会）の設立、
まちなみガイドラインの検討・作成、
まちなみ修景補助事業の実施 等

